

令和3年度 分掌・学年努力目標 [年間評価]

[4:大変良い 3:良い 2:あまり良くない 1:良くない]

分掌名	目 標	具体的方策	目標数値また期間	前期 評価	年間 評価	問題点・課題等
教務部	校務の円滑な運営を図る	主任会を通して他分掌との連携を図り学校行事の円滑な運営に努め、学校の活性化を図る。	毎月1回以上主任会を開催する。	3.5	4.0	・コロナ禍で授業や行事予定の変更・中止が相次ぐ中、臨機応変に対応していただき、ありがとうございました。 ・来年度からの通級指導開始、ICT教育の推進、観点別評価など、新たな業務が増える中で、スムーズに業務を遂行するための工夫が必要だと感じる。 ・学校PRの在り方を考える必要がある。 ・内規の改定、シラバスの新様式作成があまり進んでいない。2月中に提案できるよう努めたい。 ・朝読について、静かな読書の時間を各クラスで目指してほしい。
		職員朝会の伝達がスムーズに行えるように、白板の工夫をする。	2日分の日程を書き込み、見やすく工夫をする。	3.8	4.0	
		生徒の実態を踏まえ、学期毎の追指導・補講に取り組む。	学年末の追認審査及び追認補講を受ける生徒をなくす。	3.2	3.4	
	授業の充実に努め、学力の向上を図る	行事の精選や時間割の調整・変更をおこない授業時間数の確保に努める。	1単位あたり30時間以上の実施授業時数を確保する。	3.5	3.6	
		シラバスを作成し、より充実した学習活動に取り組む。 観点別評価を取り入れたシラバスの新様式を作成する。	年度末までに次年度分と進捗表を作成する。 2学期末までにシラバスの新様式を作成する。	/	3.0	
		生徒の学力の実態を把握し、より実践的な授業研究に努める。	公開授業を年間を通して行う。	3.2	3.6	
	生徒の進路希望に対応できるコース制を研究する	生徒の進路希望や実態を取り入れた教育課程を編成する。	7月上旬までに終了	3.2	3.6	
		魅力あるコース制の研究に努める。	年間を通しておこなう。	3.2	3.2	
	PTA・地域社会との連携をはかり教育効果を高める	地域社会及び中学校との連携を深める。	随時	3.5	3.4	
		HP・学校だよりを利用して学校のPRに努める。	随時更新を促す。学校だよりを毎月発行する。	3.7	4.0	
		PTAとの相互理解を深め、活動の活性化を図る	各種行事の参加案内を2週間前に配布する。	3.3	3.4	
	教職員の各種研修・研究を推進し、教育活動の活性化を図る	各種職員研修や報告会を定期的に開催する。	教務、生徒育成、保健相談に関わる研修会を各1回以上おこなう。 (教務部研修テーマ：ICT)	3.7	4.0	
		各種研修会と、研修の充実に努める。	学期に1回は行う。	3.5	4.0	
		ICT（タブレット端末を含む）を利用した指導法の研究に努める。	学期に1回は公開授業を行う。 ICTの活用事例を紹介する。	3.5	4.0	
	読書活動の推進と図書館の充実に努める	「読書の時間」等を通して、生徒の読書量を増やしていく。	毎日「朝の読書」を実施する	3.5	3.8	
		生徒の興味・関心を促すような図書を購入し、図書館の充実に努める。	年2回希望図書の購入をおこなう。	3.8	4.0	

令和3年度 分掌・学年努力目標 [年間評価]

[4:大変良い 3:良い 2:あまり良くない 1:良くない]

分掌名		目 標	具体的方策	目標数値また期間	前期 評価	年間 評価	問題点・課題等
生徒 育成 部	生徒 指導 班	基本的生活習慣の確立	容儀指導の徹底を図る。	年間8回の容儀検査を実施し、粘り強い指導を行う。再検査0を目指す。	3.6	3.5	・大きな問題行動は少なかった(特別指導は1件)。要因として、例年になく3学年が落ち着いていたこと、コロナ禍で校外での行動に制限があったこと、が考えられる。
			公と個の場面を理解して、自らの行動を律することができるようにする。	特に集会時の無言整列については徹底して指導する。	3.0	3.0	
			生徒の自主性を育む。	生徒必携のスケジュール欄を活用して、生徒に自己管理をさせる。	3.3	3.5	
			授業の開始時間を厳守させる。	全教員が意識して取り組む。	3.3	3.5	
		公共心の育成	乗車マナーの向上を図るため、JRおよび島鉄の乗車指導を徹底する。	各社のマナーアップキャンペーンに合わせて乗車指導を実施する。	3.0	3.0	・窓ガラスの破損が多かった。特に文化祭前後に集中していた。外部による破損が1件あった(6月)。 ・毎日の校門指導での呼びかけで、ほとんどの生徒が8:20(始業5分前)までに校門を通過できるようになった。 ・冬休み明けに茶髪生徒が増えた。年をまたいで粘り強く指導していきたい。 【継続指導中の生徒】…(2年)小林、下釜、後川(1年)小暮、田尻
			駅や学校周辺の商業施設での利用マナー等の指導を強化する。	毎朝の登校指導に力を入れる。定期的に校外巡視を行う。	3.6	4.0	
		生活委員会の充実	挨拶の励行を図るため、職員・生徒が一体となり「挨拶運動」を推進する。	生徒会と協力して「挨拶運動」を計画する。	3.6	4.0	
			駐輪場の整理整頓および安全確認に努める。	自転車通学生集会を年2回実施する。	3.3	3.5	
		分掌・学年等との連携	各学年・各分掌との連絡を密にし、指導の強化を図る。	生徒の実態把握を深めるために必要な情報を共有する。	3.6	4.0	
	生徒会 指導 班	自治能力の育成	リーダー研修によるリーダーの育成を図り、定期的な総務委員会を運営し、生徒の自主性を育む。	随時	4.0	3.7	・先生方からのご協力をいただき、コロナ禍でも工夫を凝らしながら行事に取り組むことができた。
		活動の活性化	挨拶を励行し、生徒会スローガンの実現へ向けた取り組みを行う。	生徒会総務で年5回以上の挨拶運動を行う。	3.0	4.0	・文化祭では先生方にも参加していただき、生徒と共に「みんなで盛り上げる楽しい文化祭」を創りあげることができた。 ・委員会からクラスへの目標の啓蒙活動など、委員会活動の活性化を図りたい。
			各行事がより活性化しよう内容を工夫し、スムーズな運営に努める。	行事の一週間前までに要項を作成し、生徒への周知を行う。	3.5	3.7	
			各種委員会において、具体的な活動内容を定め、各分掌と連携しながら取り組む。	学期毎に委員会の目標・活動内容を教室掲示し、必要に応じ全校集会等で周知する。	3.0	2.7	
			入部状況の調査を定期的に行い、各学年と連携して、無所属生徒の部活動編入の場を設ける。	4月、9月、1月に実施。	2.8	2.7	
		活動等の見直し	部室の使用状況を定期的にチェックし、部室を適正に使用するよう指導する。	年間5回部室の清掃を行い、カギの返却状況をチェックする。	3.0	3.0	
			会則・内規・申し合わせ事項の運用状況を確認し、必要に応じて見直しを図る。また、長期的な展望に立つて生徒会予算を編成する。	2学期終了までに部内で検討を行い、3学期の部顧問会・職員会議に諮る。			

令和3年度 分掌・学年努力目標 [年間評価]

[4:大変良い 3:良い 2:あまり良くない 1:良くない]

分掌名	目 標	具体的方策	目標数値また期間	前期 評価	年間 評価	問題点・課題等
進路指導部	学習の定着と基礎学力向上	進路希望調査実施と学力向上につながる補習・学習会・模試の実施	・進路希望調査を年3回実施 ・モートレ、補習、模試の有効活用、夏季学習会と冬季学習会の実施 ・各学年・教科と連携を取り、学力検討会を実施	3.3	3.5	コロナ禍の中、求人数の減少もありましたが早期に内定をいただくことが出来た。また、進学においても、近年にない良い成果を収めることが出来た。これは、小論文の指導を多くの先生方にいただき、また、教科指導においても学年の枠を超え、先生方の協力が得られたからだと思っています。 来年度は、モートレ、模試、一人一台タブレットなど昨年度までとは、大きく変化する過渡期になると考えられます。新しいことにチャレンジし、よりよい成果が得られるようにしたいと思います。
		進路実現のため全職員による進路体制の確立		3.0	3.0	
		モートレ、補習・長期休業中の学習会で学習習慣の定着		2.3	2.5	
	個々の進路意識の高揚	学年・進路別集会、進路講演会・進路ガイダンスの開催	・講演会やガイダンスを学年ごとに年2回開催 ・小論文・教科の添削指導 ・受験前に5回以上の模擬面接 ・進路説明会・職場見学への参加 ・タブレット導入推進チームと連携を取り、ICT教育の環境を整備する。	3.0	3.3	
		2年次でインターンシップを実施し、職業観を育成		2.8	2.5	
		個に応じた小論文・面接・教科指導等の計画実施		3.3	3.3	
		ICT（タブレット）を活用して「主体的な学び」を推進する。		3.0	3.0	
	進路情報の提供 進路室の有効活用	進路希望を把握し、適切な進路情報の精選と迅速な提供	・各クラスに進路に関する情報誌等を年6冊配布 ・ファインシステムなどにより担任に学期に1回資料提供 ・「進路だより」の年5回以上発行 ・定期的な資料の更新とデータの整理	3.0	3.0	
		『進路だより』等で情報の提供を行う。		2.0	2.3	
		模試データ等を分析し、学年や教科と情報の共有・有効活用		2.5	2.5	
		進路室のデータの系統的整理整頓		2.5	2.3	

令和3年度 分掌・学年努力目標 [年間評価]

[4:大変良い 3:良い 2:あまり良くない 1:良くない]

分掌名	目 標	具体的方策	目標数値また期間	前期 評価	年間 評価	問題点・課題等
保健 相談 部	規則正しい生活習慣の 確立	自己管理能力の具体的な手だての実施	『保健便り』を年間9回発行し、啓発する。	3.8	4.0	目標に基づく具体的な方策については、部内で協 力、協議しながらじしつ出来ていると思う。 家庭環境やこれまで染みついた生活習慣を良い方 向へ改善させるために、生徒ができることを増やせ るよう支援していきたい。 奨学金保護者説明会は、コロナウイルス感染症の影 響で中止とした。 今年度は、特別支援教育、教育相談において様々な 取り組みをすることができた。その際担任をはじめと した学年の協力を得ながら活動できたと考えている。 来年度以降も諸課題の解決に向けて協力体制をより 強固なものにしていきたいと考えている。
		健康診断の事後指導の徹底	該当生徒の保護者への連絡を徹底する。	3.8	3.8	
	安全で衛生的な教育環 境の整備	救急の場合の円滑な生徒への対応の実施	校医との連携をスムーズに行い安全面の強化を図る。	3.8	3.8	
		安全安心な教育環境の構築	安全点検を毎月・安全衛生委員会を年2回開いて、問題点の解決を図る。	4.0	4.0	
	学校生活への適応援助 活動の徹底	来談生徒への受容的態度の徹底、心を開く環境作りの整備	来室しやすい相談室となるよう心掛ける。	3.8	4.0	
		不適応生徒の早期発見・支援	日頃から担任・学年との情報共有をはかる。	3.8	3.6	
		いじめの予防・解消、各種調査の実施と分析	いじめ・悩み調査を年5回実施し、迅速な発見と対応をはかる。	3.3	3.6	
		生徒理解のための心理テストの実施と活用	テストバッテリーM2+検査の報告会を、1学年に1学期中に実施し、検査 結果の活用をはかる。	3.7	3.3	
	各分掌・学年・SC・ SSW・保護者・中学 校・外部機関との連携 の深化	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーや担任・学年との連携の 強化	日頃からスクールカウンセラー、養護教諭、担任・学年との連携を密に し、情報の共有をはかり、適切かつ迅速な対応を行う。	3.3	4.0	
		事例研究等をすすめ、職員の共通理解を深化させる職員研修の実施	A T合格者発表後、中学校訪問を実施し、新入生に対する適切な支援・指 導に役立てる。中学校訪問報告や事例研究含め職員研修を年間3回行う。	3.0	3.3	
	地道で円滑な奨学金の 運営	各種奨学金の紹介、手続きの徹底	必要に応じて、生徒・保護者への説明会を行う。	3.7	3.8	
	教育活動の土台として の人権教育の推進	生徒の自尊感情・思いやりの心の育成	講演会（年2回）を実施する。適宜、機会をとらえて集会などで呼びかけ る。	3.5	3.9	
	通級教室の体制整備	カリキュラムに関すること	6月までに原案作成	4.0	4.0	
		授業内容に関すること	2学期末までに原案作成	3.0	4.0	
		対象の決定方法について	2学期末までに原案作成	4.0	4.0	

令和3年度 分掌・学年努力目標 [年間評価]

[4:大変良い 3:良い 2:あまり良くない 1:良くない]

分掌名	目 標	具体的方策	目標数値また期間	前期 評価	年間 評価	問題点・課題等
事務部	組織的取組の推進	学校窓口としての認識（丁寧な来客・電話対応等）	日々の対応について心がける。	4.0	4.0	丁寧な、来客・電話対応につとめた。 来客の検温、来客についての取り決めなどコロナ対策を十分行って対応した。
		教育行政の円滑化（県教委・校内各担当者との迅速な報告・連絡・調整）	案件ごとに対応する。	4.0	4.0	迅速な報告・連絡・調整につとめた。
	適正な会計処理	公費…長崎県財務規則に則った計画的かつ適正な予算執行	案件ごとに対応する。	3.5	3.0	適正な執行につとめた。 旅費支出、物品購入など対応が遅れたものがあった。
		私費…適正な会計処理と、教育職員へのアドバイス	会計処理ごとにチェックを行う。	4.0	4.0	年度当初に職員会議で説明し、日常的にチェックを行った。
	教育環境の整備	快適で質の高い施設設備の充実（維持補修・施設整備計画の策定と令達後の迅速な執行）	年1回要求、緊急案件については随時要求。令達後は早期執行する。	3.8	3.0	事務室内で情報を共有しながら計画を策定し、令達後は早期執行につとめた。小規模改修については対応が遅れた。
		計画的な環境整備 安全点検報告箇所への迅速な対応	環境整備については随時行う。毎月1回の安全点検結果で報告された箇所について迅速に対応する。	4.0	4.0	年1回の除草作業については、体育祭中止によりPTA協力がなくなったため、職員に協力を仰ぎ実施した。月1回の安全点検結果については、事務室内でも共有し、迅速に対応した。
1 学 年	育てたい生徒像	挨拶の励行、目上の人に対する言葉遣い、適切な表現力を身につけさせ、礼儀正しく、精神的にたくましい生徒を育てる。	始業時・終業時はきちんとした挨拶を徹底させる。職員室や授業中の言葉遣いで不適切なものがあれば、その場で指導を行う。	3.3	3.0	・全体的に落ち着いた雰囲気で、授業や部活動に前向きに取り組もうとする姿勢が見られた。
		規則を遵守させ、基本的生活習慣の確立を図り、品位ある生徒を育てる。	容儀検査後の再検査の徹底する。提出物の期限や授業開始の時間を厳守させる。	3.0	3.0	・容儀面で一部、気になる生徒がいるので、生徒育成部の協力も得ながら、今後も指導を継続していきたい。
		郷土を愛し、思いやりにあふれる温かい人間性を養う。	総合的な探究の時間を有効活用し、地域に密着した学習を行う。	3.9	3.6	
	生徒基点の発想による一人ひとりを大切に する教育の実践	部活動・学校行事・生徒会活動に積極的に参加させ、学校やクラスへの帰属意識を高めさせるとともに自己肯定感を育てる。	アルバイトは長期休業中以外は原則認めず、学校生活に専念させる。	3.4	3.9	・特性のある生徒もいたが、保健相談部や佐仲先生にもご協力いただき、対応することができた。
		素直で、思いやりにあふれる温かい人間関係の確立に努めさせる。	人間関係のこじれに気付いたら、すぐに面談を行うなど早急な対応をとる。	3.7	3.3	・上級学校見学会を通して、進路意識が高まりつつあると感じられた。
		保護者との連携を密にし、心身共に健全な育成を図り、遅刻・欠席の防止に努める。	保護者から欠席・遅刻の連絡がない場合は、その日のうちに担任から連絡をして状況を把握する。	3.4	3.9	・成績下位層には、欠点者指導を粘り強く行い、成果を上げることができた。逆に成績上位層への指導があまりできずに伸び悩んだ。添削指導を受けている生徒もいるので、このまま頑張らせたい。
		適切な進路情報を提供し、進路に対する意識を高めさせ、適切なコース選択をさせる。	年間2回以上、個人面談を実施する。進路情報紙を月に1回のペースで発行する。	3.3	3.4	
	学力の伸長	授業を大切にし、意欲的に学ぶ姿勢を育成する。	チャイムと同時に授業を開始し、私語や居眠り等があればその都度適切に指導する。	3.1	3.1	・コロナ禍のため、学校行事での活躍が少なかったが、文化祭では協力して活動する姿が見られた。
		基礎・基本を重視した分かりやすい授業を心がけ、基礎学力の定着を図る。	少人数教育のモートレを充実させ、IT教材を有効活用する。	3.6	3.9	
		家庭学習や積極的な質問など、自ら学ぶ姿勢を身に付けさせる。	基礎学力定着のために毎日宅習を与える。家庭学習調査を定期考査前に1週間行う。	3.3	3.0	・本年度より1年次は平等クラスだったが、2年のコース選択の際、どのように選択させるかについては検討が必要と感じた。
	教育環境の整備	掃除の徹底を図り、清潔で明るい学習環境づくりに努める。公共物を大切にすることを育てる。	掃除は毎日監督につき指導する。机とロッカーの中を整理させ、私物をロッカーの上や床に置かせないようにする。	3.7	3.6	

令和3年度 分掌・学年努力目標 [年間評価]

[4:大変良い 3:良い 2:あまり良くない 1:良くない]

分掌名	目 標	具体的方策	目標数値また期間	前期 評価	年間 評価	問題点・課題等
2 学 年	育てたい生徒像	挨拶の励行、目上の人に対する言葉遣い、適切な表現力を身につけさせ、礼儀正しい生徒を育てる。TPDをわきまえさせる。	始業時・終業時の挨拶を徹底させる。 職員室や授業中の言葉遣いについては、その場で適切に指導する。	2.7	2.8	・全体的に生活態度は落ち着きはあるが、一部、言動や容儀で指導を受ける者がいる。進路実現に向けて礼儀や挨拶、言葉遣いの指導を徹底していく必要がある。 ・授業は落ち着いて受けることができる生徒が多いが、学習意欲が低く、消極的な姿勢の者が目立つ。 ・新型コロナウイルス感染症の影響でインターンシップなどの行事が中止になり、進路意識を高めるのに苦慮した。 ・学力が心配されている学年だが、進路実現のため学習指導を強化していきたい。
		中堅学年としての自覚を持たせ、社会性のある生徒を育てる。さらに時間厳守を習慣づける。	容儀検査後の再検査は完全に改善するまで粘り強くおこなう。	3.0	3.0	
		部活動・学校行事・生徒会活動に積極的に参加させ、学校やクラスへの帰属意識を高めさせるとともに自己肯定感を育てる。	アルバイトは長期休業中以外は原則認めず、学校生活に専念させる。	3.3	3.5	
	生徒基点の発想による一人ひとりを大切に する教育の実践	素直で、お互いに思いやりのある人間関係の確立に努めさせる。	人間関係のこじれに気付いたら面談を行うなど早急な対応をとる。 1年間で2回以上の個人面談を実施する。	3.2	3.3	
		保護者との連携を密にし、心身共に健全な育成を図り、遅刻・欠席の防止に努める。	保護者から欠席・遅刻の連絡がない場合は、その日のうちに担任から連絡をして状況を把握する。年間出席率96%以上にする。	2.7	2.8	
	学習・進路指導の充実	基礎・基本を重視したわかりやすい授業を心がけ、基礎学力の定着を図る。	チャイムと同時に授業開始に努める。 モートレを充実させ、I T教材を有効活用する。	3.0	3.5	
		家庭学習や積極的な質問など、自ら学ぶ姿勢を身に付けさせる。	国語、英語、数学の宅習課題を各教科週に2回ずつ出す。 家庭学習調査を定期考査前に1週間おこなう。	3.3	3.5	
		インターンシップやオープンキャンパスを通して、進路に対する意識を高めさせ、適切な進路志望を選択をさせる。	インターンシップの事前指導、事後指導を徹底する。 オープンキャンパス情報などを含んだ進路情報紙を学期に2回以上発行する。	3.0	3.0	
	教育環境の整備	掃除の徹底を図り、清潔で明るい学習環境づくりに努める。公共物を大切に する心を育てる。	毎日監督につき指導する。 考査前にロッカーや机の中の整理をさせ、確認する。	3.2	3.5	
3 学 年	育てたい生徒像	最高学年としての自覚を持たせ、学校生活全般にわたって下級生の模範となれる生徒を育てる。	私物を机・ロッカーの上に置かせない。授業の担当者は極力チャイムと同時に教室に入るようにする。	2.8	3	・コロナ関連で、体育祭をはじめ様々な行事が中止・変更を余儀なくされたが、限られた条件の中で個々の進路を達成することができた。 ・8月以降の受験期の指導により、学年全体で前進しようとする様子が感じられ、見ていて気持ちよかった。 ・昨年度は修学旅行を実施できなかったが、今年度で代替行事を実施することができ、それなりに思い出をつくることができた。 ・こちらが少しでも手を抜くとすぐに生徒にも伝わる。学業も学校生活も腰を引かずに指導した結果、就職でも進学でも好成績につながったと思われる。
		学校行事・部活動等に積極的に参加させ、下級生をしっかりとリードする。	体育祭や部活動の運動部・文化部で中心的役割を担わせる。	3	3.2	
		挨拶の励行、目上の人に対する言葉遣い、適切な表現力を身につけさせる。	根気強く日常的に指導して、社会人として通用するレベルを身につけさせる。	2.7	3.2	
	学習・進路指導の充実	受験に対応するために生徒の学力に応じたモートレ、学習会、補充指導等を行う。	目標の進路実現のために、量ではなく、質の向上に努める。少人数教育や個別指導を充実させる。	3.7	3.7	
		家庭学習の習慣化を図るため、宅習プリント等の提出を徹底させる。	毎日点検を行い、未提出の者は放課後居残りさせて提出させる。	3.5	3.3	
		生徒に適切な進路情報を提供し、進路に対する意識を高めさせ、目標とする進路実現の一助とする。	個人面談を随時実施し、進路情報の掲示板を有効活用する。	3.2	3.7	
		生徒の進路について保護者との連携を密にする。	三者面談については、必要な生徒は2回以上実施する。	3.3	3.7	
	生徒基点の発想による一人ひとりを大切に する教育の実践	清潔で、端正な身だしなみをさせる。	容儀検査で指導される生徒を10人以下にする。	3	3	
		生徒の生活面について保護者との連携を密にする。	欠席、遅刻、早退などは確実に連絡を取る。	3.2	3.3	
		きちんとした挨拶や礼儀作法など社会性のある生徒の育成に努める。	提出物の期限を守り、いつでも自然な挨拶ができるようにする。	3	3.5	
		体調管理をしっかりとさせ、規則正しい生活を送らせる。	学年の年間出席率96%以上。皆勤5名以上、年間無欠席20名以上。	2.3	3	
	保健・環境美化指導の 充実	掃除の徹底を図り、清潔で明るい学習環境作りに努める。	毎日監督につき指導する。公共物の破損には厳しく対応する。	3.3	3.5	